

Beat-Sonic TOON Σ PSK-T301 取扱説明書

NO:000004

このたびは、TOON Σ [PSK-T301] をご購入いただき、誠にありがとうございます。
安全にお使いいただくため、必ずこの取扱説明書を最後までお読みのうえ正しくお取扱ください。

対応車種：トヨタ ハリアー（JBLプレミアムサウンドシステム）

※本製品には適合があります。対応する年式、装備などは弊社Webサイトでご確認ください。

■本機の主な特徴

- ・高品位なオーディオコンポーネントを採用。
- ・コンパクトなのに、クリアで迫力ある車内音響を実現。
- ・カプラーオンの簡単接続で初心者でも簡単に取付けが可能。
- ・RCA出力付きで、簡単にサブウーファーを追加可能。

■PSKのアンプについて

- ・本製品は8chの出力を持つオーディオアンプです。純正アンプが8ch以上のため、8ch分の効果的なスピーカーに対して本製品を使うように設計されています。
- ・リアスピーカーは純正アンプでの出力となります。
- ・純正アンプからの音を増幅しているため、純正アンプから出ているわずかなノイズを増幅して音として出てしまうことがあります。

■同梱品

製品本体、接続ケーブル（電源/スピーカー/ハイレベルインプット）（ケーブル長さ：1.5m）、両面テープ×4、面ファスナー×2、取扱説明書

製品についてのお問い合わせ窓口



▶ Webお問い合わせフォーム [24時間受付]
<http://contact.beatsonic.co.jp/>

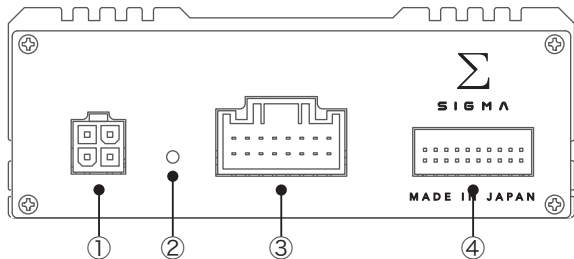
Beat-Sonic 株式会社 ビートソニック

〒470-0112 愛知県日進市藤枝町庚申472-5
TEL 0561-75-1655 / 0561-74-5592 URL <http://www.beatsonic.co.jp/>

掲載されている商標、ロゴ、商号等に関する権利は、弊社または個人の権利所有者に帰属します。詳しくは弊社Webサイトをご参照ください。

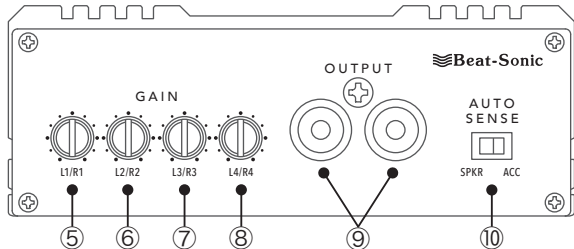
② 各部の名称と働き

■前面



- ①電源コネクター
付属のケーブルを接続します。
- ②インジケータランプ
本体の電源がONになるとLEDが点灯します。
- ③スピーカー出力コネクター
付属のケーブルを接続します。
- ④ハイレベル入力コネクター
付属のケーブルを接続します。

■背面



- ⑤フロントツイーター調整（出荷時には車種別の調整が設定されています。）
右に回すとフロントツイーターのゲインが大きくなります。
- ⑥フロントスピーカー調整（出荷時には車種別の調整が設定されています。）
右に回すとフロントスピーカーのゲインが大きくなります。
- ⑦サブウーファー調整（出荷時には車種別の調整が設定されています。）
右に回すとラゲツジ内のサブウーファーのゲインが大きくなります。
- ⑧フロントドアウーファー調整（出荷時には車種別の調整が設定されています。）
右に回すとフロントドアウーファーのゲインが大きくなります。
- ⑨RCA出力
入力されたフロントドアウーファーの音声がRCA端子で出力されます。
- ⑩オートセンス
PSKアンプの電源コントロール方法です。
・SPKR：初期設定はこちらになります。
純正アンプの電源に連動するため、パワースイッチのON/OFFに連動しない場合があります。
・ACC：本体の電源が入らなくなるため、こちらは使用しないでください。

① 安全のために

この製品は大電力を消費する機器であり、取扱説明書に記載の注意事項を守らないと、火災や人身事故の原因となるおそれがあります。

⚠ 警告

以下の警告次項を守らないと、火災、感電などにより、死亡、大けがなどの人身事故の原因になります。



本機を分解・改造しないでください。
故障や火災の原因となることがあります。また、保証対象外となります。



運転操作や車両の可動部に干渉しないように取付けてください。
ネジやシートレールなどの可動部にコードを挟み込まないでください。



車体に穴を開ける際は、パイプ、タンク、電気配線を傷つけないよう十分注意してください。
損傷すると火災や事故の原因となります。



雨や水がかかる場所、湿気やほこりの多い場所に設置しないでください。
火災や感電、事故の原因となります。



本機の上に物を置いたり、覆ったりしないでください。
通風口や放熱板を塞ぐと、内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

⚠ 注意

以下の注意事項を守らないと、ケガをしたり、車両損傷や損害を与えたりすることがあります。



規定容量のヒューズを使用してください。
規定容量以上のヒューズを使用すると、火災の原因となります。



本機は安定した場所に取付けてください。
天井や振動の多い場所への設置は、製品が落下し、けがや事故の原因となるおそれがあります。



大音量での視聴は危険です。
車外の音が聞こえる程度の音量でお聞きください。



以下のような場所には取付けしないでください。
・ヒーターの熱風が直接あたるなどして温度が極めて高くなる場所。
・ラジオやアンテナに近い場所。ノイズが入ることがあります。
・運転の妨げになる場所。事故の原因となるおそれがあります。



使用できない車があります。
弊社Webサイトの適合情報を確認のうえ、ご使用ください。



正しくお取扱ください。
この製品の不当な取扱いによる不具合または不当な取付けによって生じた損害につきましては、当社はその責任を負いかねますので、ご装着の際はあらかじめご了解ください。

③ ゲインの調整について

■本製品のゲイン初期設定値

ボリューム番号				
5 6 7	L1/R1	L2/R2	L3/R3	L4/R4
4 8	8	7	6	6
3 9				
2 10				
1 11				



ゲイン調整するときの注意

- ・ゲインを再調整する場合は、すべてのダイヤルを1に戻してから再調整してください。
- ・各ゲインを上げすぎるとANC（アクティブノイズコントロール）の作用により、ノイズやハウリングのような不要な音が出ることがありますので、ゲインの上げすぎにはご注意ください。
- ・不要な音が発生した場合はその音が消えるところまでゲインを下げてください。

④ 取付けについて

本機を取付ける際は熱がこもらないように周囲に十分な空間がある場所に設置してください。

■本機の取付けについて

本機の取付けは、お買い上げ店に依頼することを推奨しております。
取付方法は車種や年式により異なり、専門的な知識が必要となります。ご自身で取付けを行う場合は、この取扱説明書に従い正しく取付けてください。誤った取付けは、感電、火災、車両の損傷の原因となります。



アンプ本体は使用状況により非常に高温になる場合があります。

放熱を妨げ、故障の原因となる恐れがあるため、クッションテープなどを巻かないでください。

⚠ 注意

- ・作業を行う前に必ず、純正デッキの動作確認を行ってから取付作業を開始してください。（純正デッキが正常に動作しない場合は、本機を取付けても正常に動作しません。）
- ・断線やショートを防ぐため、電源ケーブルを配線する際には、車体の鋭利な部分を選んでください。
- ・金属部分に穴を開けて配線を通す場合、被覆が損傷しショートするのを防ぐために、プッシュなどを使用してください。
- ・車体の板金部近くを通るコードには、保護テープを巻いてください。
- ・取付後、ブレーキランプ、ヘッドライト、ウィンカー、ワイパーが正常に動作することを確認してください。

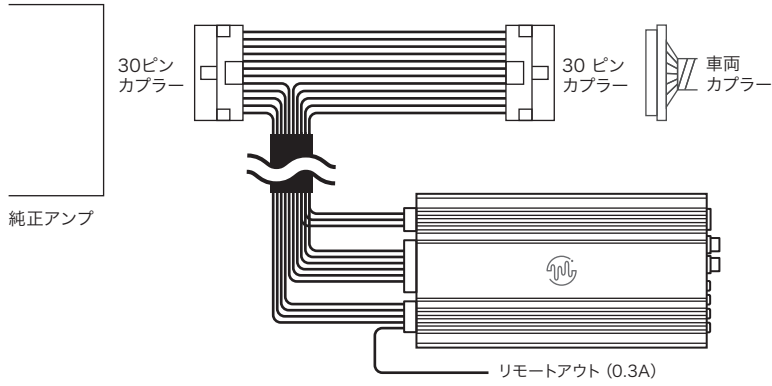
⑤ ヒューズの交換について

規定容量以外のヒューズは使用しないでください。

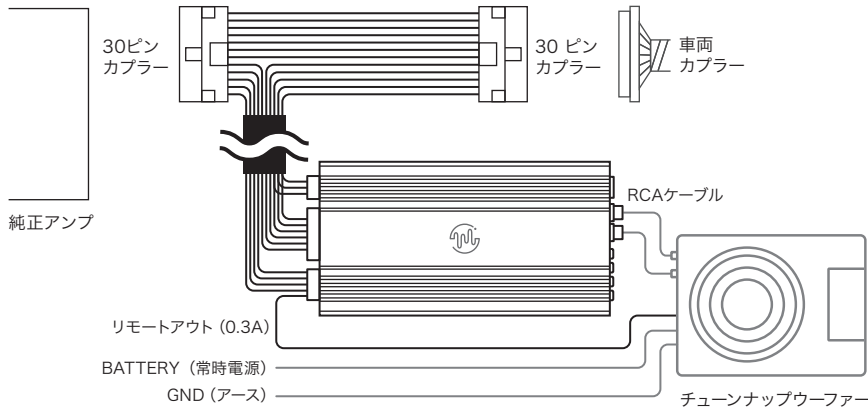
- ・使用ヒューズ：15A（Φ6mm×30mm）
- ・交換してもすぐにヒューズが切れる場合は、お買い上げ店または弊社Webサイト「お問い合わせフォーム」よりご相談ください。

⑥ 取付け方法

■取付け方法



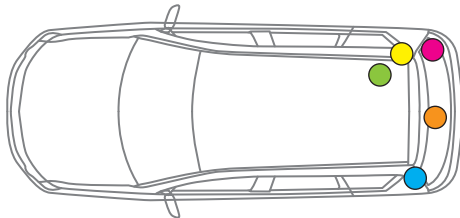
■RCA出力でチューンナップウーファーをつなぐ



■純正アンプ位置および

PSK本体の参考設置位置

- 純正アンプ位置 (PHEV車): 純正ウーファー下
- 純正アンプ位置 (ガソリン車/ハイブリッド車): ラゲッジ右横奥
- PSK本体の参考設置位置 (PHEV車): ラゲッジ中央下
- PSK本体の参考設置位置 (ハイブリッド車): ラゲッジ右横奥
- PSK本体の参考設置位置 (ガソリン車): ラゲッジ右側



⑨ 故障かな？

症状	原因
音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒューズが切れている。 ・バッテリー電圧が低い。 ・AUTO SENSEのスイッチ位置が適切でない
オルタネーターの雑音が入る	<ul style="list-style-type: none"> ・電源ケーブルやRCAケーブルがオルタネーターや車両ハーネスに近すぎる ・RCAケーブルが車体に接触している。
音が小さい	<ul style="list-style-type: none"> ・本機の各ゲインやデッキの音量が小さい。
その他のノイズが入る	<ul style="list-style-type: none"> ・本機のゲインを上げすぎている。 ・アクティブノイズコントロール(ANC)と併用した際の影響※1
ラゲッジルームからの異音が気になる場合	<ul style="list-style-type: none"> ・ラゲッジルームにある純正サブウーファー上部に取り付けられている樹脂製カバーが、サブウーファーからの振動によりビビリ音(異音)を発生することがあります。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>対策方法</p> <p>樹脂カバーを取り外し、周囲にスポンジテープを貼る。</p> <p>本製品にスポンジテープは付属しておりません。市販のスポンジテープをお買い求めください。</p> </div>

原因に対処しても問題が解決しない場合は、接続に問題があるか、本機が故障している可能性があります。お買い上げ店または弊社『お客様相談室』にご相談ください。

⑦ 本体の主な仕様

最大出力	50W×8ch
適合インピーダンス	4~8Ω
クラス	ClassAB
音声入力	ハイレベル入力×8
音声出力	スピーカー出力×8
	RCA出力 (L/R)
リモート出力	最大0.3A
周波数特性	20~80kHz
電源電圧	DC11V~15V (マイナスアース)
消費電流	0.4A
使用ヒューズ	15A
寸法	106 (W) × 214 (D) × 40 (H) mm
質量	850g (本体のみ)

⑧ ロック付きカプラーの取り外し方



1. ①を矢印方向にしっかり押しながら手前に引く
2. ②方向にカチッと音がするまでさけて、③方向にカプラーを抜く

※1.アクティブノイズコントロール(ANC)と併用した際の影響について

■アクティブノイズコントロール(ANC)とは？

アクティブノイズコントロール(ANC)機能は、運転席や助手席などの天井付近にある集音マイクで「エンジン音・ロードノイズ」を拾い、スピーカーから「逆位相」の信号を出してノイズを打ち消す仕組みです。

■TOON Σとアクティブノイズコントロール(ANC)との関係性は？

TOON Σは音声信号を増幅するという製品の特性上、ANCが出す逆位相(ノイズを打ち消すための音声信号)も同時に増幅し、本来はエンジン音とは同じ大きさで打ち消し合うはずの逆位相信号が増幅され、人工的なノイズだけが残ってしまうことがあります。

■ノイズを軽減・解消する2つの方法

TOON Σは通常走行で問題がないレベルに調整していますが、車両個体差や走行条件によって逆位相信号が想定より強く出る可能性があるため、ノイズが発生した場合は、以下の方法をお試しください。

① ゲインを均等に下げる(推奨)

TOON Σ 本体側面の4つのゲインつまみをすべて同じ量下げます。

※はじめに1メモリ下げて試走し、まだノイズが気になる場合はさらに1メモリ下げてください。

特徴 TOON Σ が持ち上げている音楽信号と「逆位相信号」を同時に小さくするので、ノイズだけが目立つ現象を抑えられます。4つを同じ幅で下げれば音のバランスは崩れません。デッキ側のボリュームで聴感上の音量を戻せば、音質設定を変えずにノイズ成分だけを小さくすることができます。

② ANCをOFFにする

車両設定メニューにANCの項目がある場合はOFFに変更。

※メニューにない場合はディーラーで変更可能だと思われるのでディーラーにてご確認ください。

特徴 逆位相信号そのものを発生させない方法です。

ANCをOFFにするためノイズは確実に止まりますが、エンジン音・ロードノイズも打ち消されなくなります。

■RCA出力について

RCA出力はフロントドアウーファーからの音声信号が出力される設定になっています。

ANCの音楽信号も同時に出力されるため、サブウーファーなどを取り付けられる際はノイズキャンセルの逆位相信号が増幅されずしてしまいノイズの原因となりますのでカットオフ周波数の調整もしくはANCのオフなどを行ってください。

製品保証について

本製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
保証期間はご購入後1年となります。

保証範囲など製品保証

保証範囲など製品保証については、弊社Webサイトよりご確認ください。

<https://www.beatsonic.co.jp/warranty/>

